

中宮中だより

No. 8

平成29年(2017年)9月25日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹



文化祭の取り組み、充実していますか？

現在、この毎日こそが文化祭「本番」！！

放課後、1, 2年生の教室、廊下は、歌声でいっぱいです。パートごとに集まって、大きな声を響かせています。

3年生の廊下を通ると、大道具の制作真っ盛り。教室をのぞくと、あるクラスは台本片手にキャストが練習、別のクラスでは、床いっぱいに紙を広げて、背景画の制作、と、本当にみんな自然に協力し合って、一生懸命取り組んでいます。(裏面に写真)

これこそ、「生きた学校」なんだなと感じました。今、この時こそが、一人ひとりが一生懸命になれる時、クラスがまさに団結していく途中なんだなと思います。

文化祭、発表は29日たった1日ですが、今の毎日、こうしてみんなで協力して歌や Horizont や劇を創り上げていくこの日々こそが、「文化祭」の値打ちです。本番だけ格好つけても意味がありません。

もちろん、順調な日々ばかりではないでしょう。取り組みのなかで、様々なトラブルが起こっているかもしれません。それまで見えなかったクラスの課題が、表面に出てくることもあります。

しかし、それこそチャンスではないでしょうか。ピンチはチャンスなのです。そんなときこそ、クラスでしっかり話し合って、みんなの力で解決してください。クラスが一步も二歩も前進する大チャンスではないですか。そんなことも含めて、というよりそれらを解決して前進するための文化祭なのです。

★少し気になることもありますので、言っておきます。「文化祭の取り組みだけ」一生懸命だという人はいませんか？ 当たり前の学校生活・・・授業への取り組み、時間を守る等が出来てこそ文化祭です。遅刻をしたり授業中に居眠りするようなことでは、文化祭に関わる資格がないと言われてもしかたないですよ！！そんなことのないよう、一人ひとりがしっかりと生活し、クラスみんなでがんばっていきましょう！！

～こんな悲しい事件が起こりました～

<「チビチリガマ」が荒らされる>

「チビチリガマ」とは沖縄県読谷村(よみたんそん)にあるガマ(鍾乳洞)のことです。太平洋戦争末期、最後の戦場となった沖縄。1945年4月1日、アメリカ軍が読谷村を襲撃。村の人達はこのガマに逃げ込んでいました。

アメリカ軍は、ガマから出るよう呼びかけ、翌日2日には、「安心して出てきなさい」という内容のビラと缶詰等の食料を置きましたが、誰も信用せず、自決(自殺)する者が出て、さらに中に居た日本兵を名乗る男が火をつけたため、村民はパニック状態に陥ってしまったそうです。

結局、ガマに居た139名の村民のうち、外へ飛び出した者はアメリカ軍の捕虜となって助かりましたが、洞内で自決してしまった者が80人以上(その半数以上が子ども)にのぼったということです。

戦後、沖縄県は、このガマを立ち入り禁止にして、二度と戦争を繰り返さないという決意の象徴として遺族の方々を中心に大切に保存してきました。

沖縄戦は、皆さんも知っての通り、無謀な戦争の最後の、そして最も悲惨な戦いでした。軍人だけでなく、推定で4万人近い沖縄の一般住民が犠牲になったと言われています。みなさんと同じ年代の14歳～17歳の男女とも、戦地に駆り出され、その多くが命を落としています。

さて、先日、このチビチリガマが荒らされたというニュースがありました。しかも、「犯人」は、沖縄に住む少年たちで、動機は「きもだめし」等の悪ふざけであったということだそうです。彼らは、その悲惨な歴史を「知らなかった」と言っているそうです。

本当に知らなかったのならば、まさにこれはきちんと教えてこなかった私たち大人の責任であると言わざるを得ません。

みなさんは、どうでしょうか？ 沖縄戦のことは知っていても、このチビチリガマの集団自決のことは知らなかった人が多いのではないのでしょうか。

しかし、この事件は「知らなかった」では決して済まされないことだと思います。この残念で悲しい事件を、あらためて戦争の歴史やその悲惨さを知り、それを自分たちのこととして受け止めて考えるきっかけにしていきたいという思いで、ここに掲載しました。

これからも、たくさんの「大切なこと」をみんなで学んでいきましょう。

<合唱>

廊下でノリノリ



男子も負けてはいない



教室で



本番さながら・・・声を合わせて



<制作中>

背景画をみんなで



ホリゾン制作 見守る先生



小道具作り



大道具も作ります



教室でセリフ合わせ

